

ボランティア

当交流の家での教育事業において、大活躍をしてくださっているのがボランティアの皆さんです。高校生や短大生、大学生をはじめ、一般の方々もいらっしゃいます。

平成28年4月28日には、福島県の福島大学との連携協力を締結し、平成28年5月15日には、新潟県の新潟青陵大学・同短期大学との包括連携協定を結びました。そのため、多くの学生さんがボランティアとして当交流の家においてになります。

そのほかにも、新潟県の上越教育大学や福島県の郡山女子大学、猪苗代高校、会津ザベリオ高校などの学生さんがボランティアとして協力してくださっています。一般の方も昨年度から協力していただいています。

地元福島県内の方々のご協力は、大変ありがたく思っています。また、おとなりの新潟県からおいでになるボランティアの方々には、JR磐越西線を利用したり高速バスを利用したりしておいでになります。朝5時に起きてやってくるそうです。高速バスだと新潟駅から約2時間。JRですと4時間かかります。上越市からはそれ以上かかります。本当に頭が下がります。

ボランティアの皆さんには、主に参加者の活動補助や活動にかかる準備や後始末をお願いしています。

昨年からのボランティアの皆さんの顔と名前は一致してきています。ボランティアの一人一人は、子供たちに正面から向き合い、安全管理を第1に子供たちに言葉かけをし、子供たちの主体的な活動をサポートしてくれています。このような諸活動は、必ずやこれからのキャリア形成に役立つものと確信しています。

当交流の家では、ボランティアの拡大を図り、さらなる充実を求めて、県内の高校や短期大学等に出向き、担当の先生と懇談し、双方の想いの共有と実施上の課題を整理し、具体的な提案をしています。今後広がっていくものと考えています。

まもなく、当交流の家の看板事業であるチャレンジ・ジオ・キャンプ2019が始まります。今年は、5つの県より小学5年生から中学3年生までの27名の子どもたちが参加してくれます。このキャンプにももちろんボランティアの方々のご協力いただきます。長丁場なので体調を崩さず、参加していただきたいと思っています。

各教育事業を展開する中でボランティアの存在は欠かせないものとなってきています。当交流の家では、ボランティアの方々を大切にお育てし、お一人お一人のキャリアアップのお手伝いをしていきたいとも考えています。

ボランティアの皆さん、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(文責 所長 福 士 寛 樹)